

※実務経験のある教員による授業科目

**授業概要**

本授業では、「家族と何か」という基本的な問いに始まり、「家族はどのように変化するのか」「家族を取り巻く問題とは」といった問いに対して、心理学的な視点から講義を行う。その際、家族療法の基礎理論や、家族療法の鍵概念についても講義する。さらに、講師の児童期・思春期の子どもとその家族を対象とした心理面接の実践経験や、教育・福祉現場での心理職としての実務経験を踏まえ、現代社会における様々な家族の形態や家族を取り巻く課題について、架空事例を用いながら解説する。

**授業計画**

第 1 回	ガイダンス 家族とは何か
第 2 回	家族心理学とは何か
第 3 回	家族の変化・発達の概観
第 4 回	恋愛から結婚へ
第 5 回	結婚生活と夫婦関係
第 6 回	子どもの発達の概観
第 7 回	子育て（1）乳幼児期の子どもと家族
第 8 回	子育て（2）児童期の子どもと家族
第 9 回	子育て（3）思春期・青年期の子どもと家族
第 10 回	家族をめぐる諸問題（少子高齢化・住居・近隣環境・ワークライフバランスなど）
第 11 回	家族の臨床（1）DV、家庭内暴力
第 12 回	家族の臨床（2）貧困、虐待
第 13 回	家族療法の理論（システムズ・アプローチについて）
第 14 回	家族療法の重要概念（IP、円環的因果律、家族の境界など）
第 15 回	家族療法の実際
第 16 回	筆記試験

**到達目標**

- （1）家族とは何か、現代社会における家族のあり方の多様化を含め説明できる。
- （2）家族の発達と個人の発達の関連について説明できるようになる。
- （3）家族を取り巻く問題の実際について、架空事例を通して体験的に理解する。
- （4）対人援助職として家族を支援する際の基礎知識を習得し、心構えを身につける。

**履修上の注意**

- （1）20 分以上の遅刻は欠席扱い、遅刻3回で 1 回の欠席とする。リアクションシートの未提出は欠席とする。
- （2）全ての授業でリアクションシートの提出を求め、翌週の授業開始時に講師がフィードバックする。
- （3）許可の無い限り、機器の如何にかかわらず授業内容の撮影・録音を禁ずる。

**予習・復習**

予習：配布資料や教材に目を通し、疑問点や知りたい点を考えておくこと。  
 復習：分かった点や興味を持った点、よくわからない点についてまとめておくこと。  
 （疑問点については授業内でフィードバックを行う）

**評価方法**

リアクションシート（40%）、定期試験（60%）で評価する。定期試験は、穴埋め式・論述式で行う予定である。詳細は授業内で提示する。

**テキスト**

各回のパワーポイント資料。必要資料を適宜配布する。